

学校教育目標	○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子	【目指す学校像】	児童が願いをもって生き生きと学習し、思いやりの心をもって明るく活動し、健康や安全に気を付けて力一杯運動している学校
		【目指す児童・生徒像】	「た・な・か」の子 【 た:たくましい子 な:仲良くする子 か:かしく考える子 】
		【目指す教師像】	「た(Timemanagement=時間管理)・な(Navigator=誘導者・航海士)・か(kindness=思いやり・親切)」を意識し職務を励行する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本を大切に、分かる授業の実践に努める。(休校時の学習内容の定着・授業改善・学習指導要領の完全実施)	読み書き、四則計算の力を定着させる。	授業、ベーシックドリル、eラーニング、日常の小テスト、力試し、補教教室宿題、家庭学習、ラボ等	4 漢字、計算の定着を85%以上図った。 3 漢字、計算の定着を80%以上図った。 2 漢字、計算の定着を75%以上図った。	4	4 全国学力 国・算平均 -1.5pt 3 全国学力 国・算平均 -2.0pt 2 全国学力 国・算平均 -3.0pt	4	6年全国2教科平均+1.6。次年度以降も続くよう、指導力向上を目指していきたい。	その学年のメンバーによって数値は上下するものと捉えて、目の前の子に適切な指導をお願いする。	A	基礎基本の学習の徹底を継続するとともに、個別最適な学びをさらに推進していく。
		朝読書、読書旬間等で意欲を高め、学年相応の読書をさせる。	月曜日、金曜日の朝読書、図書館利用、図書の貸し出し活用、読み聞かせ、沼島エンシス活用の啓発	4 読書計画に基づいての実施率90%以上 3 読書計画に基づいての実施率80%以上 2 読書計画に基づいての実施率70%以上	3	4 目標冊数・ページ数の達成率95%以上 3 目標冊数・ページ数の達成率87%以上 2 目標冊数・ページ数の達成率80%以上	3	取組・成果の評価ともに、わずかに4に達しなかった。次年度は達成できるよう意識付けを図る。	日常的に読書の習慣を付けていく必要がある。	A	読書の習慣化をより一層推進するとともに、市西部地区の図書活動の基幹となり読書推進を行う。
		学年相当の時間(学年×10分)に基づいた家庭学習を推進させる。	自己の課題克服グットライフ調査宿題+自学自習	4 各学年家庭学習実施率90%以上 3 各学年家庭学習実施率85%以上 2 各学年家庭学習実施率80%以上	4	4 授業は分かりやすい97%以上 3 授業は分かりやすい95%以上 2 授業は分かりやすい90%以上	4	4 授業は分かりやすい97%以上 3 授業は分かりやすい95%以上 2 授業は分かりやすい90%以上	4	授業力向上アドバイザー事業の成果で、高評価であった。次年度も取組を継続していく。	先生方は苦心されて授業されているのが分かる。これからもお願いしたい。
豊かな心	生命を尊重し互いに認め合える、豊かな心を育てる。	様々な体験を通して、心の交流を(児童・教師)図る。	縦割り班活動 奉仕御活動 栽培活動、人権の花通常の学級と固定学級	4 児童の積極的参加を95%にする。 3 児童の積極的参加を90%にする。 2 児童の積極的参加を85%にする。 1 児童の積極的参加を80%にする。	4	4 相談できる先生がいる95%以上 3 相談できる先生がいる90%以上 2 相談できる先生がいる85%以上 1 相談できる先生がいる85%未満	3	相談できる先生が95%未満は課題。次年度は95%達成を実現できるよう児童理解に努める。	不登校となる前の学校と家庭の連携を大切にしたい。	A	児童理解を深めると同時に、相談しやすくなるような関係性を構築していく。
		教室・学習環境を見直して、すべての児童にやさしい学校・学級にする。	児童理解に努め、個に応じた指導を進める。	4 市UDチェック45項目できている。 3 市UDチェック38項目できている。 2 市UDチェック37項目できている。 1 市UDチェック37項目未満できている。	3	4 落ち着いて生活できている93%以上 3 落ち着いて生活できている88%以上 2 落ち着いて生活できている83%以上 1 落ち着いて生活できている83%未満	3	UDについての意識を更に高め、児童にとってより生活しやすい環境づくりに努めていく。	個に応じた対応をしっかりと行っている印象。これからもお願いしたい。	A	学習、生活等様々な場面でUDを推進し、分かる授業の具現化を目指す。
		学校生活をより楽しいものにする。	授業、特別活動、交友活動の充実	4 楽しくする工夫をしている90%以上 3 楽しくする工夫をしているか85%以上 2 楽しくする工夫をしているか80%以上 1 楽しくする工夫をしているか80%未満	4	4 学校生活は楽しい95%以上 3 学校生活は楽しい90%以上 2 学校生活は楽しい85%以上 1 学校生活は楽しい85%未満	4	コロナ禍の中でも工夫すれば楽しく生活できることが分かった。次年度も継続していく。	参観時も楽しく学ぶ姿が見られて嬉しく思う。ぜひ、継続して欲しい。	A	今までと同様に、たのしく学べ、成長を自覚できる田中小学校をつくる。
健やかな体	丈夫な体とたくましい心を育てる。	児童の基礎体力の向上を図る。	元気アップガイドブック(GB)や学習カードを活用して、運動の学び方を身につけて体力をつける。	4 元気アップGBの活用週2回以上 3 元気アップGBの活用週1.5回以上 2 元気アップGBの活用週1回以上 1 元気アップGBの活用週1回未満	3	4 体力が付いてきている92%以上 3 体力が付いてきている85%~91% 2 体力が付いてきている80%~84% 1 体力が付いてきている80%未満	3	コロナ禍で児童の体力が低下傾向にある。元気アップGBの推進で体力向上を推進していく。	外遊びの大切さをもっと意識させたい。	B	元気アップガイドブックのさらなる活用と、体育学習、外遊びの充実を図り、体力向上を目指す。
		健康教育、食に関する指導を推進する。	担任の声かけ 視覚的な掲示 食のバランス意識 残さいのおにぎり換算	4 週のうち完食が4回 3 週のうち完食が3回 2 週のうち完食が2回 1 週のうち完食が1回	4	4 給食残さい率2.3%未満 3 給食残さい率2.4%未満 2 給食残さい率2.5%未満 1 給食残さい率2.5%以上	3	評価は3だが、給食残率率は減少傾向にある。SDGsとからめてさらに取り組んでいく。	自校給食校の強みを生かして食育を推進してほしい。	A	残率率は2.4%で、比較的少ないが、次年度はさらに高い数値となるよう取り組んでいく。
		自分の命は自分で守る。	手洗い、うがい、咳エチケット、体温三密等	4 通年での新生活様式の確立 3 校庭での遊びでの配慮 2 自己の健康管理と他への配慮事項 1 いつでも、どこでも実践するよう指導	4	4 けが病気で保健室入室2.0%以下 3 けが病気で保健室入室2.5%未満 2 けが病気で保健室入室3.0%未満 1 けが病気で保健室入室3.0%以上	3	けが病気が前年度とほぼ同じ。微増している「心が不安定な児童への対応」を検討していく。	コロナ禍の中で心が不安定な子供への指導をお願いしたい。	B	自尊心を高めることを通じて、児童の不安感軽減を目指す。
輝く未来	自分の将来を見つめ、自らの生き方を考える力を育てる。	将来の夢を児童にもたせる。	職場体験 マイキャリアパスポート 家族の職業について理解を深めさせる	4 生き方について考える機会を与えた70%以上 3 生き方について考える機会を与えた60%以上 2 生き方について考える機会を与えた50%以上	4	4 将来について考えることがある90%以上 3 将来について考えることがある85%以上 2 将来について考えることがある80%以上	4	次年度も、マイキャリアパスポートを活用して、将来の自分について考えていけるようにする。	自分の明るい未来像をイメージできることが大事である。	A	自分の将来像をイメージさせ、生涯学習の基盤となるキャリア教育を推進する。
		基本的な生活習慣の確立を図る。(今やるべきことの確認)	早寝、早起き、朝ごはん グッドモーニング60分	4 90%以上の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 3 86%~90%の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 2 71%~85%の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした 1 70%以下の教員が意識して家庭・児童への啓蒙をした	4	4 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた96%~100% 3 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた91%~95% 2 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた84%~90% 1 早寝、早起き、朝ごはんを実践できた84%未満	3	早寝・早起きは94%達成。次年度は95%超を目指してGM60分を推進していく。	SNSやゲームへの依存について学校での、継続的な指導が大切である。	B	専門機関との連携を確立させるとともに、GM60分の推進を図る。